



「共生 共感 創造」

学校HPアドレス

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/yokohamayoshida/>

横浜市立横滨吉田中学校長

米盛 司

学校で学ぶということ＝なりたい自分を広げる 自分でやれることを広げる 校長 米盛 司

学校で学ぶ理由は何だろう？ ある本を手にして読みました。

「働き者の木こりは毎日精一杯に木を切ります。しかし日に日に木が切れなくなっていきます。木こりはとても落ち込みます。」

皆さんはなぜだと思いませんか？

とても簡単な話です。答えは忙しさに追われた木こりは切る斧を磨くことを怠っていたのでした。

「目先の仕事をこなすのに精一杯になって、大切なことを忘れてしまう」ことに気づかされます。

皆さんにとって大切なこと。それは学校で学ぶ理由を理解しているか、ということではないでしょうか。

「木こりの斧」は皆さんにとっては「これからの社会を生き抜く知力を生み出す頭脳」です。

木を切るようにやってくる様々な課題を切るため、乗り越えるために、頭脳を磨くことが大切です。

毎日、学習や部活動、好きな趣味などに費やす時間を取り組むだけで精一杯になってはいませんか？

大人が仕事をするように淡々と取り組んだ毎日を過ごしてはいませんか？

包丁を磨けばいつも、ものをきれいに切ることができます。運動をすれば心と体の健康を感じる

ことができます。そして私たち人間は、

頭脳を磨けば、関心や興味が広がり、なりたい自分を広げることができます。自分の能力を高め、自分

でやれることを広げ、いろいろなアイデアを生み出すことができるのです。それはやがて学校を卒業し

社会に巣立つとき、自由にそしてたくさんの選択肢から選び、歩んでいけるようになるのです。

このことは何歳になっても大切なことだと思います。私も子どもの鏡である大人のひとりとして仕事

の忙しさを理由に学びを止めてはいけないと思いました。

目先のことをこなすだけになってはいないかな。忙しさを理由にいろいろなことに関心を持てる頭脳

を磨かなければ、頭脳はくたびれるだけ。刃物を磨くように、学び続け頭脳を磨いていきましょう。